

平成23年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	信濃バレー親水レクリエーション広場			
管理者名	グリーン&フィールド	指定期間	平成22年4月1日	～ 平成27年3月31日
担当課	秋葉区役所建設課			
所在地	秋葉区大秋地先信濃川右岸河川敷			
根拠法令	地方自治法			
設置条例	新潟市信濃バレー親水レクリエーション広場条例			
施設概要	信濃バレー親水レクリエーション広場 170,784㎡ ゴルフ場9ホール，サッカー場2面・ラグビー場1面，バーベキュー広場 受付棟（プレハブ），工具倉庫（プレハブ），機械倉庫（プレハブ2棟） 移動式水洗トイレ（2棟）			

施 設 設 置 目 的
市民の河川に対する親しみを深め，並びに健康増進を図るため，信濃バレー親水レクリエーション広場を設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 ， 方 針 等
(1) 市民の親水意識の普及・向上 親水レクリエーション広場の良好な維持管理や設置目的に沿った活用により，市民の「河川に対する親水意識」の普及・向上に努める。 【重点課題】 ・有料施設であるゴルフ場だけでなく，バーベキュー広場などの無料施設の良好な維持管理に努め，市民の利用に供する。 ・河川敷という設置場所を認知してもらうため，広報の充実や広く市民が参加できるイベントの開催に努める。 ・河川敷に設置している関係上，災害時等の非常時の迅速な対応に努める。
(2) 市民の健康増進の場の提供 ゴルフやサッカー・ラグビー等の運動の「場」やレクリエーションの「場」を提供し，積極的な利用を促進する。 ・ゴルフ場以外の広場をレクリエーション目的の自由な利用に供することにより，市民の心と体の健康増進を図る。 【重点課題】 ・初心者，女性やキッズ対象のゴルフ体験会等の開催により，ゴルフ場の利用者の増加を図る。 ・サッカー・ラグビー教室等の開催により，サッカー場・ラグビー場の利用者の増加を図るほか，レクリエーション目的の利用にも供することにより，市民の心と体の健康増進を図る。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	ホームページアクセス数(年) 1,800件以上	11,210件	A	定期的に更新して 情報提供をしている。 前年度に比べ 約1.3倍アクセス数 が増加した
	基準利用者の達成	ゴルフ体験場入場者数(年) 6,800人以上	6,708人	A	新潟福島豪雨被 害及び復旧作業 によりクローズ期 間があったため、 前年度より7%減 となった
	基準利用者の達成	芝生広場・バーベキュー広場 入場者数(年) 7,000人以上	6,095人	A	新潟福島豪雨被 害及び復旧作業 によりクローズ期 間が1か月間あつ たため、前年度よ り28%減となつた が、平常時には例 年並みの利用者 数があった
財 務	業務の効率化	施設利用者1人当たり運営経費 1,422円以下	1,259円	A	目標数値を達成し た
業 務	業務仕様書等に定める事項 の遵守	業務仕様書等に定める事項 の遵守	遵守した	A	適正に遵守されて いる
人 材	配置人員条件の水準維持	配置人員条件の充足 他のゴルフ場等で芝生管理業 務従事経験者(2年以上)を1人 以上	芝管理業務従事 経験職員を配置し ている	A	有資格者を適正 に配置している
	配置人員のミッションの理解 度とスキルの習得度	研修の開催回数(マニュアル 整備を含む) 個人情報保護、災害時の対応 について、それぞれ年1回以上	個人情報保護、災 害時の対応など5 研修各1回実施し た	A	研修が実施されて いる

(注)評価にあたっては、天候等による影響を勘案することとする。

総 合 評 価 (所 見)

新潟福島豪雨被害及び復旧作業によるクローズ期間の影響により、利用者数が大幅に減少した。しかしながらリピーターの確保や新規利用者開拓にも積極的に取り組んでいる。
また、水害対策として設備改善が行われており、災害時等の非常時の迅速な対応に備えている。

ゴルフコースの芝生の手入れ等の維持管理についても、定期的に保守をしているため非常に美観が良く、芝生広場とバーベキュー広場の維持状態も良好である。

農薬使用の縮減やリサイクルや修繕による物品の長期利用など、環境に配慮した維持管理を行っている。
コスト意識を持ち、経費節減に努め管理にあたっている。
指定管理者として優良と評価できる。